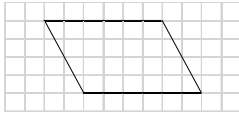
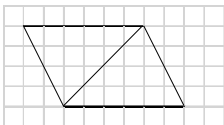
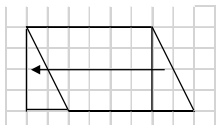
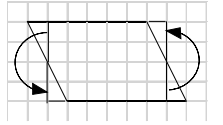


【学習指導案様式】 具体例

5年2組	教科	算 数	指導者	○○○○○
単元名・題材名	面 積		時	4 / 全13時間
題 目	平行四辺形の面積を求めよう			
ねらい	平行四辺形の面積の求め方を、2つの三角形に分けたり、等積変形で長方形に直したりするなど、既習の図形と関連付けて考えることを通して、説明することができるようにする。			
評価	【評価規準】 平行四辺形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。			
	【観点】思考・判断・表現	【評価方法】ノート分析・行動観察		
「努力を要する状況」の児童生徒に対する手立ての工夫	既習の図形に帰着することが難しい児童には、タブレットを使って三角形に分けたり、等積変形したりするなど視覚的な支援をすることで、既習図形と関連付けて考えれば求められる見通しを持つことができるようにする。			
学習活動	1 めあてを提示する。 ・既習図形（三角形や長方形等）の面積の求め方を振り返る。 ・平行四辺形を提示し、児童に困りが出たところでめあてを位置付ける。			
	【めあて】平行四辺形の面積を求めよう。			
	2 課題を確認し、自分の考えを持つ。 【課 題】平行四辺形の面積はどんな方法で求められるだろうか。			
	・ノートに自分の考えを書かせる。【自己決定】 ・友達に説明することを念頭に置かせ、言葉や図での説明を書き加えさせる。 ・一つの方法で解決したら別の方法での求積を試みさせる。			
	3 ペア（またはグループ）で説明し合う。 【自己存在感】【共感的人間関係】 ・図を示しながら説明させる。 ・自分の考えとの異同を意識させる。			
	4 全体の場で考えを出し合う。 【自己存在感】【共感的な人間関係】			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>$6 \times 4 \div 2 = 12$ $12 \times 2 = 24$ 答え 24cm² (2つの合同な三角形に分ける)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>$4 \times 6 = 24$ 答え 24cm² (ずらして長方形にする)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>$4 \times 6 = 24$ 答え 24cm² (2つの直角三角形を まわして長方形にする)</p> </div> </div> <p>・説明の時は、図と照らし合わせて説明をさせる。 ・いくつかの解決方法に共通する「既習の求積可能な図形に直す」ことにつながるキーワードを板書する。</p>				
5 まとめをする。 平行四辺形の面積は、分けたりずらしたりして、三角形や長方形に変えれば求めることができる。				
6 振り返りをする。 ・練習問題に取り組みさせる。				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ぼくは、長方形に変形するやり方で求めたけど、○○さんの説明のように対角線で分けると二つの合同な三角形ができるから、面積を2倍すればかんたんに求められることがわかりました。 ・長方形に変形する考え方もいろいろなやり方がわかってよかったです。次は、平行四辺形の面積の公式を考えてみたいです。</p> </div>				